



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社

コード番号 4543 URL <http://www.terumo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 新宅 祐太郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 桑井 哲也 TEL 03-6742-8550

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	95,867	0.2	15,481	△10.9	12,981	△23.0	8,159	△16.5
24年3月期第1四半期	95,630	17.7	17,378	9.0	16,868	34.4	9,772	11.1

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △6,081百万円 (-%) 24年3月期第1四半期 5,914百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	42.97	-
24年3月期第1四半期	51.46	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	654,818	342,278	52.2	1,801.36
24年3月期	692,520	352,537	50.9	1,855.25

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 342,040百万円 24年3月期 352,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	17.00	-	22.00	39.00
25年3月期	-	-	-	-	-
25年3月期(予想)	-	22.00	-	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	195,000	2.2	28,500	△17.7	27,500	△12.1	16,000	△9.7	84.26
通期	410,000	6.0	60,000	△4.8	58,000	△2.0	34,000	40.7	179.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

・年間想定レート；1ドル=80円、1ユーロ=105円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社（社名）一、除外 1社（社名）ギャンブロ, Inc.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	189,880,260株	24年3月期	189,880,260株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,471株	24年3月期	1,067株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	189,878,959株	24年3月期1Q	189,880,986株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）における世界の医療市場を概観すれば、米国では現政権が導入した医療保険改革法が連邦最高裁で「合憲」と判断されましたが、共和党側は大統領選挙を通じて撤回を強く求めていく方針を表明しています。欧州では、再生医療などの早期実用化へ向け、大学や国の研究機関、企業、病院などが連携する研究開発拠点の整備が相次いでおり、厳しい財政状況でも、各国政府は研究助成や起業支援に力を入れています。また、我が国では薬価・公定価の改定がありました。

一方、新興国に目を向ければ、中国では、昨年度末の第11期全国人民代表大会第5回会議で温家宝首相が「（末期腎不全の状態である）尿毒症など8種類の大病への保障を全面的に推進する」ことを主要任務の一つに設定するなど、今後も医療機器市場の継続的な成長が見込めます。またメキシコでは昨年度末、両国の薬事登録制度を同等と認定する協定が日本にも拡大され、日本で承認、認証された医療機器を迅速審査の対象とする省令が公布されました。

このように医療市場を取り巻く環境はグローバルに変化しており、当社グループの強みを活かせる新たな成長機会も広がりつつあります。

当社グループにおいては、カテーテル事業が医療水準の向上により症例数の増加が続く新興国はもとより、経済の停滞が続く欧米においても引き続き現地通貨ベースで着実に業績を伸ばしました。同事業では基盤となるガイドワイヤーやカテーテル商品の販売が堅調に推移するとともに、脳動脈瘤治療用コイルや末梢血管用自己拡張型ステントなどの高付加価値品が高い伸長率を示しております。

当社グループでは現在、「2020年までに、世界で存在感のある企業になる」という目標を掲げ、前期から3カ年の中期経営計画を推進しています。当第1四半期連結累計期間の主な取り組みは以下の通りです。

- 今後の成長戦略に基づき、中長期的に見込まれる需要の増加に対応するため、ベトナム、フィリピンで生産拠点の新設・拡張を決定しました。
- 欧州における事業拡大のため、オーストリアに支店を開設しました。同市場ではこれまで、全て代理店を通じた販売を行っておりましたが、今後は、カテーテル商品を中心に自社販売を展開します。
- OFDI血管内画像診断システムを欧州で発売しました。カテーテル治療分野における世界最大級の学会において、ライブ手術に使用され、多くの医師から高い関心を集めました。
- 新しい脳血管内塞栓用コイルを国内で発売しました。新たな2製品を加えることで、コイル塞栓術を幅広くカバーし、治療戦略に合わせたコイルの提供が可能になりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は次の通りです。

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響等除く 伸長率 (%)
売上高	95,630	95,867	0.2	3.1
売上総利益	50,842	51,692	1.7	6.1
営業利益	17,378	15,481	△10.9	△2.5
経常利益	16,868	12,981	△23.0	—
四半期純利益	9,772	8,159	△16.5	—

<売上高>

売上高は前年同期比0.2%増の959億円となりました。

地域別

(単位：百万円)

地 域	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響等除く 伸長率 (%)
日 本	44,675	45,516	1.9	1.9
欧 州	19,483	17,729	△9.0	0.4
米 州	19,917	20,492	2.9	4.9
アジア他	11,553	12,129	5.0	9.2
海 外 計	50,954	50,351	△1.2	4.1
合 計	95,630	95,867	0.2	3.1

国内では薬価公定価改定の影響があったものの、前年同期比1.9%増の455億円となりました。一方、海外ではカテーテル事業が順調に推移し、現地通貨ベースでは好調を維持しましたが、為替の影響を受け、海外売上高は前年同期比1.2%減の504億円となりました。

<売上総利益>

売上総利益は為替の影響や価格引下げの影響などマイナス要因もありましたが、高収益品へのシフトならびに増産効果などにより前年同期比1.7%増の517億円となりました。

<営業利益>

営業利益は、当初計画通りの成長投資を含む一般管理費と研究開発費の増加により、前年同期比10.9%減の155億円となりました。

<経常利益>

経常利益は、円高進行による為替差損の影響を受けて前年同期比23.0%減の130億円となりました。

<四半期純利益>

四半期純利益は、前年同期比16.5%減の82億円となりました。

事業セグメント別の売上高の状況は以下の通りです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「ホスピタル事業」、「心臓血管領域事業」、「血液システム事業」及び「ヘルスケア事業」の4区分から、「ヘルスケア事業」を「ホスピタル事業」に統合し、「心臓血管領域事業」及び「血液システム事業」の3区分に変更しております。

(単位：百万円)

事業セグメントの名称		前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
ホスピタル事業	売上高	37,632	38,182	1.5	2.8
	(国内)	29,992	31,233	4.1	4.1
	(海外)	7,640	6,948	△9.1	△2.7
心臓血管領域事業	売上高	39,955	41,056	2.8	7.2
	(国内)	11,923	11,707	△1.8	△1.8
	(海外)	28,031	29,349	4.7	11.0
血液システム事業	売上高	18,042	16,628	△7.8	△5.2
	(国内)	2,758	2,574	△6.7	△6.7
	(海外)	15,283	14,053	△8.0	△4.9

<ホスピタル事業>

国内では、慢性期市場向け商品である半固形栄養食品やDM事業などが好調に推移し、前年同期比では増収となりました。

海外では、米州、中国などの地域で現地通貨ベースでは売上を伸ばしたものの、為替の影響を大きく受けました。

その結果、ホスピタル事業の売上高は前年同期比1.5%増の382億円となりました。

<心臓血管領域事業>

国内では、公定価改定の影響や競合他社の新商品導入により、薬剤溶出型冠動脈ステント「Nobori」（ノボリ）の売上にも一定の影響が出ました。

海外では欧米などの主要市場においてカテーテル事業が堅調に推移するとともに、中国では引き続き高い成長を実現しました。北米では、TRI（手首の血管から冠動脈にアプローチするカテーテル手技）の普及拡大に伴いTRI関連商品群が順調に売上を伸ばしました。

その結果、心臓血管領域事業の売上高は為替の影響を受けながらも前年同期比2.8%増の411億円となりました。

<血液システム事業>

国内では、血液バッグが前年同期比でマイナス伸長となりました。

海外では、引き続き治療アフェレシスが好調に売上を伸ばしましたが、血液システム事業の売上高は前年同期比7.8%減の166億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ377億円減少して6,548億円となりました。

流動資産は241億円減少して2,328億円となりました。現金及び預金が161億円、受取手形及び売掛金が84億円減少となりました。

固定資産は137億円減少して4,220億円となりました。有形固定資産は4億円減少、無形固定資産は116億円減少、投資その他の資産は16億円減少となりました。

(負債)

負債の部は274億円減少して3,125億円となりました。

流動負債は524億円減少して1,056億円となりました。短期借入金が348億円減少しております。

固定負債は249億円増加して2,069億円となりました。長期借入金が266億円増加しております。

(純資産)

純資産の部は、103億円減少して3,423億円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.3ポイント増加し、52.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

為替の動向や、医療機器市場を取り巻く環境変化など、今後も不透明な状況が続きますが、第2四半期連結累計期間ならびに通期の連結業績予想について変更はありません。

当社グループは、このような厳しい事業環境の中、目標を達成するため、医療経済性の向上に貢献できる高付加価値商品の導入、さらなる製造コストダウンへの取り組みや徹底した販管費の効率運用などに努めてまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の特定子会社であるギャンブロ，Inc.は、平成24年4月1日を効力発生日として、当社の子会社であるテルモBCT，Inc.に吸収合併されたことにより、消滅いたしました。これにより、ギャンブロ，Inc.は、当社の特定子会社に該当しなくなりました。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,767	62,693
受取手形及び売掛金	91,800	83,418
たな卸資産	69,280	71,556
繰延税金資産	9,707	7,571
デリバティブ債権	9	77
その他	8,543	8,519
貸倒引当金	△1,240	△1,022
流動資産合計	256,867	232,815
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,108	47,602
機械装置及び運搬具(純額)	38,431	38,396
土地	21,298	21,515
リース資産(純額)	1,447	1,473
建設仮勘定	15,243	13,808
その他(純額)	8,225	8,512
有形固定資産合計	131,754	131,308
無形固定資産		
のれん	138,809	132,350
顧客関連資産	83,758	79,677
その他	48,222	47,191
無形固定資産合計	270,790	259,218
投資その他の資産		
投資有価証券	20,387	18,901
繰延税金資産	6,996	7,054
その他	5,722	5,505
投資その他の資産合計	33,106	31,461
固定資産合計	435,652	421,989
繰延資産	—	13
資産合計	692,520	654,818

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,920	33,483
短期借入金	60,000	25,209
リース債務	423	439
未払法人税等	11,840	4,037
繰延税金負債	23	32
賞与引当金	5,048	2,510
役員賞与引当金	127	31
設備関係支払手形及び未払金	7,027	5,722
資産除去債務	840	420
その他	38,747	33,754
流動負債合計	157,997	105,644
固定負債		
社債	80,000	80,000
長期借入金	50,000	76,568
リース債務	999	1,042
繰延税金負債	44,736	42,459
退職給付引当金	1,538	1,681
役員退職慰労引当金	202	199
資産除去債務	153	154
その他	4,354	4,789
固定負債合計	181,984	206,895
負債合計	339,982	312,540
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	52,103	52,103
利益剰余金	290,529	294,511
自己株式	△3	△5
株主資本合計	381,345	385,326
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△51	△1,068
繰延ヘッジ損益	1	△0
為替換算調整勘定	△29,023	△42,217
その他の包括利益累計額合計	△29,073	△43,285
少数株主持分	264	238
純資産合計	352,537	342,278
負債純資産合計	692,520	654,818

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	95,630	95,867
売上原価	44,787	44,175
売上総利益	50,842	51,692
販売費及び一般管理費	33,463	36,211
営業利益	17,378	15,481
営業外収益		
受取利息	86	64
受取配当金	154	56
受取ロイヤリティー	37	28
持分法による投資利益	33	33
その他	91	331
営業外収益合計	402	514
営業外費用		
支払利息	161	263
売上割引	146	154
為替差損	451	2,410
たな卸資産処分損	53	0
その他	99	185
営業外費用合計	913	3,013
経常利益	16,868	12,981
特別利益		
固定資産売却益	12	0
災害損失戻入益	156	—
補助金収入	227	875
特別利益合計	395	875
特別損失		
固定資産処分損	4	81
投資有価証券評価損	1,112	—
特別損失合計	1,116	81
税金等調整前四半期純利益	16,147	13,776
法人税、住民税及び事業税	5,751	3,991
法人税等調整額	613	1,609
法人税等合計	6,365	5,600
少数株主損益調整前四半期純利益	9,781	8,175
少数株主利益	9	16
四半期純利益	9,772	8,159

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,781	8,175
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,183	△1,016
繰延ヘッジ損益	△3,612	△1
為替換算調整勘定	△2,437	△13,237
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△1
その他の包括利益合計	△3,867	△14,256
四半期包括利益	5,914	△6,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,914	△6,054
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△26

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ホスピタル 事業	心臓血管領域 事業	血液システム 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	37,632	39,955	18,042	95,630	—	95,630
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	37,632	39,955	18,042	95,630	—	95,630
セグメント利益	7,813	9,629	1,561	19,004	△1,625	17,378

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,625百万円には、たな卸資産の調整額△2,712百万円、その他1,086百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「血液システム事業」セグメントにおいてカリディアンBCTホールディングCorp. (現テルモBCTホールディングCorp.) を買収しました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては124,427百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ホスピタル 事業	心臓血管領域 事業	血液システム 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	38,182	41,056	16,628	95,867	—	95,867
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	38,182	41,056	16,628	95,867	—	95,867
セグメント利益	5,959	6,859	287	13,106	2,374	15,481

(注) 1. セグメント利益の調整額2,374百万円には、たな卸資産の調整額1,300百万円、その他1,073百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「ホスピタル事業」、「心臓血管領域事業」、「血液システム事業」及び「ヘルスケア事業」の4区分から、「ホスピタル事業」、「心臓血管領域事業」及び「血液システム事業」の3区分に変更しております。この変更は、ヘルスケア事業をホスピタル事業に統合し、高度化・複雑化する医療市場や健康意識の高まりに対応し、顧客特性を軸とした戦略立案とマネジメントを迅速かつ力強く実践することを目的とした会社組織の変更によるものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。